

「渡良瀬川にサケを放そう」

九小では、^{さくねんど}昨年度から、^{わたらせがわ}渡良瀬川にサケを放す^{はなすかつどう}活動をしています。



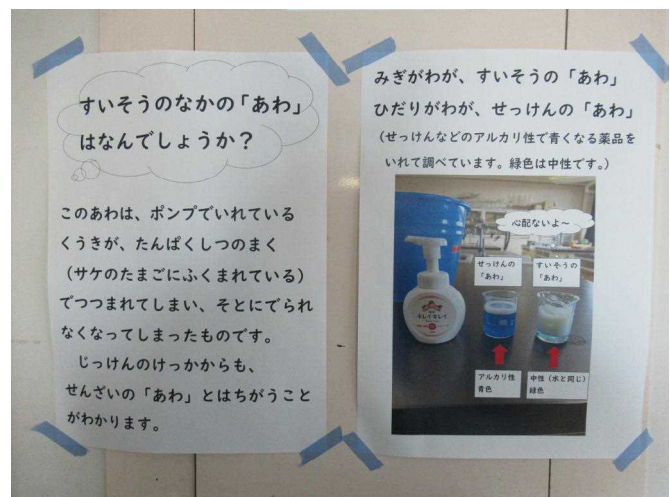
^{さいしよ}最初は、イクラでした。^やおすし屋さんで食べる、アレ。そこからしっぽが生え、^{およい}目が出て泳いだときはビックリ！

そうそう、サケの赤ちゃんが生まれたとき、水そうがあわだらけになって、みんなで大さわぎになったっけ。

「だれかが水そうに石けんを入れたんじゃないか？！」

そこで、理科の先生が^{しらべて}調べてくれて、右のような紙を水そうのそばにはってくれました。

「石けんのあわじゃないんだって。よかったね」





そして、今日、2月26日、
 元気に育ったサケの子どもたち^{そだつ}
 を渡良瀬川に返す日が来ま^{わたらせがわ}した。
 何人ものお友^{ともだち}達が、
 お別れ^{おわかれ}をするために集ま^{あつま}って
 くれました。



さようなら、元気でね！

大きく育^{そだつ}ってまた帰ってきてね。





あああ、みんないなくなっちゃった
ね。

まだこんな小さな子どもだけど、^{こんど}今度会うと
きは、大きく^{そだつ}育っているといいね。がんばれ！

